

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	ビジネス支援サービス事業	会計	一般会計	事業No.	804	施策順No.	11-076
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-5-11-2		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	図書館		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	17	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内に居住する成人						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		市内一般成人の数	87520	87470	86291	85345	85345	
	意図	「地域や市民にとって役に立つ図書館」として、図書館の持っている情報蓄積と資料提供の機能を充実させ、地域住民の生活と仕事を支援する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	調べもの相談窓口相談件数	1225	1699	1691	1400	1589	1500	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ詳細】		暮らしや仕事に役立つ図書館として、資料提供ツールを充実させてきたため、調べもの相談窓口件数が目標値を上回った。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	図書館の持つ豊富な蔵書と資料提供の機能を最大限活用し、生活と仕事に役立つ情報支援の充実を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 専門図書の購入 2 レファレンス業務(「調べもの相談」窓口対応) 3 パスファインダーによる情報検索の支援 4 就労支援セミナー開催	1 図書購入冊数 2 (1)HPアクセス数 (2)レファレンス受付数(相談窓口) 3 パスファインダー作成数 4 セミナー参加者数	1 161冊 2 (1) 67,500件 (2) 1,589件 3 11件 4 15人
23年度実施計画	1 専門図書の購入 2 レファレンス業務(「調べもの相談」窓口対応) 3 パスファインダーによる情報検索の支援 4 就労支援セミナー等開催	1 図書購入冊数 2 (1)HPアクセス数 (2)レファレンス受付数(相談窓口) 3 パスファインダー作成数 4 セミナー参加者数	1 150冊 2 (1) 55,000件 (2) 1,400件 3 10件 4 20人

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		504	484	504		
計(A)		504	484	504		
正規職員所要時間			3,400			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			12,158			
トータルコスト A+B			12,642			

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	社史をはじめとする仕事と暮らしに役立つ資料の充実に努めてきたため、多くの方の利用があった。	
	後期に向けた課題	引き続き、暮らしと仕事に役立つ資料の充実に努める。	
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	データベース導入により、多くの情報が提供できた。	
	後期に向けた課題	更にレファレンスサービスの充実に図る。	
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	事業経費を最小限で行った。	
	後期に向けた課題	特になし	
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	図書館法により利用料は無料	
	後期に向けた課題	特になし	
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	利用者が自ら、暮らしと仕事に役立つ情報を入手できるツールの充実に努めてきた。	
	後期に向けた課題	中学生・高校生に職業・地元産業について紹介していく方法を検討。	
全体を通じて	4年間の振り返り	レファレンスサービスの充実に努めてきた。	
	後期に向けた課題	レファレンスツールでもあるハスファインダーの活用についてPR方法を検討。	

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------